

[03_01]九州大学情報基盤センター広報 : 学内共同 利用版表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1470653>

出版情報 : 九州大学情報基盤センター広報 : 学内共同利用版. 3 (1), 2003-03. 九州大学情報基盤センター
バージョン :
権利関係 :

編集後記

博多湾の人工島計画が進められています。将来は、ここに港湾施設、住宅、研究・開発施設などを建設するそうです。雁ノ巣レクリエーションセンターと箱崎ふ頭の間を知人の車で何度か通り抜けたことがあります。それなりに眺めがよく、短い時間で往復することができます。健康の為か、ジョギングをしている人や散歩をしている人を見かけます。走るにしても、歩くにしても、いい場所なのかもしれません。

しかし、博多湾は東奥部にある和白干潟が渡り鳥の中継地になっており、これらの野鳥を支える底生動物・魚類・植物が豊富であること。また、百万都市に残された貴重な環境教育の場、市民の憩いの場、水質を浄化する自然の浄化槽との声もあり、人工島計画は工事前から干潟とその周辺の環境に悪影響を及ぼすと指摘されていました。

さらに、最近ではケヤキと庭石の購入を巡って市議会で委員会が開かれるなど何かと問題は多いようですが、それは頭の片隅に置き、時間がある方は一歩足を踏み入れてはいかがですか。ひとときの安らぎになるかも。

(Y.I.)

現在、あるホームページの更新作業に取り組んでいて、その一環として、「文献検索のフローチャート」なるものを試行的に作成しました。この「文献検索のフローチャート」の元は紙媒体（A3のものでもA4でプリントアウト）ですけど、これをそのままhtml化またはPDF化したら、一画面での表示字数が多く、利用者の方には見づらいものになりそうです。このような理由により、今回、「フローチャート」はシンプルなものになっています。実際、公開する際には、見栄えが変わることはありますが、今のシンプルさは保ちたいと思っています。

この「フローチャート」の特長は、ある個所をクリックすれば、別のウィンドウが開き、そのウィンドウに各種文献検索データベースへのリンク機能を持たせたことです。つまり、「フローチャート」は、データベースへのナビゲート機能を果たすことができます。

いずれ、「フローチャート」を使った方が、データベースを使って必要な文献を探し出し、レポートや論文の作成に役立てていただくようになればありがたいです。

話は変わって、先日『学内版向け広報』に原稿を書きました。この原稿を書くように言われたのは11月ですけど、そのときは、共著で書くようになっていた『大学〇〇〇研究』（雑誌）の原稿が仕上がってませんでした。この原稿は数度も書き直しを余儀なくされ、最終的には数ページも削減されました。また、原稿を書くのかと思うと、気が重くなりましたが、なんとか書き上げました。幸いなことに、今回は書き損じが少なく、修正箇所が少ないようなので、ほっとしました。この原稿は某社のワープロソフトで作成し、その中に表を入れていました。原稿をチェックされたところ、表のフォントを変更するよう指示があったので、フォントを変更したら、ページが1ページ減りました。私が書く文章は、ページが減るようになっているようです。

ちなみに、この『大学〇〇〇研究』の同じ号には、私と同じ職場の方も原稿を書いています。内容はともかく、文章のレベルを比較されるとどうでしょう？

(M.O.)